



3915



114  
A1429



我内政即今急ニ講セスニハアルヘカラスルモノニアリ

一曰國會ニ曰財政此ニツノ者ハ既ニ衆論ノ喋々スル所

ニシテ利害得失殆ト餘ヲ蘊ナキカ如シ蓋シ國會ノ議

ハ設立ノ早晚ニ在テ設立ノ可否ニアラサルマ明カ也

然レモ物先後アリ事緩急アリ財政匡救ノ論ハ最

急ニシテ國會設立前ニ於テ其實効ヲ顯ハサスニハ

アルヘカラス宜ク財政ノ累ヲ以テ國會ニ遺スヘカラス

若シ然ラスレテ漫ニ國會ヲ設立スル時ハ其論鋒ハ

天正十一年四月  
大隈侯爵印

ト分

先ツ第一財政ニ在ルヘシ政府國會ヲ満足セシムルヲ能  
ハサル時ハ彼レ必ス其改革ノ方法ヲ發言スヘシ政府  
自己ノ目的ヲ棄テ國會ニ從ハシカ凡百ノ政治財政ト  
相連及セサルモノ少シ根本既ニ已ニ保持スル能ハス枝葉  
何ソ獨リ彼レニ聽サルヲ得ンヤ其勢一時瓦解ニ至ラ  
ン歐州古來殷鑑少カラス豈寒心セサルヘケニヤ若シ  
其議ノ悞ハサルニヨリ彼ヲ箝制シテ啄ヲ此ニ容レサラ  
シメントスルカ初ヨリ國會ヲ設立セサルノ愈レリトスルニ如カ

ス況ンマ終ニ箝制シ得ヘカラサルニ於テチヤ故ニ曰ク財政  
匡救ヲ以テ第一着トスル也蓋シ之ヲ處スル難キニアラス所  
謂能ハサルニアラス為サルナリ夫レ良医ノ病ヲ治スルマ先  
ツ其病根ヲ察シ而后之カ治療ヲ施ス苟モ病根ヲ察  
セス後ラニ患者ノ疼痛ヲ看テ之ヲ救フニ痲睡藥ヲ以テス  
縱令ヘ一時其疼痛ヲ減スルモ藥氣去ルニ及ンテ病患  
舊ニ依ルノレナラス或ハ前ヨリ甚シキモノアラシ之ヲ數  
スレハ終ニ以テ斃ルニ至ラン察セスンハアルヘカラス今財政

ト分

ノ病根ハ即チ紙幣ノ過發ニ在リ是レ誠ニ數ノ見  
易キモノナリ凡ソ國大小ヲ問ハス不換紙幣過度ニ  
發行スル時ハ國內ノ金銀貨ハ悉ク外國ニ流出ス金銀  
空ク流出セス必ス之ニ換ルニ物品ヲ以テス即是レ輸入  
超過ノ一原由ナリ金銀地ヲ拂ヒ随テ其價騰貴  
ス金銀ノ騰貴ニアラス紙幣ノ下落ナリ是レ勢ノ自  
然理之避クヘカラサルモノニシテ歐米各國并ニ我カ旧  
諸藩ノ實地ニ經験シタル所ナリ抑通貨下落ノ國

家ニ害アルマ實ニキヲヘカラス間接ニ人民ノ財産ヲ與奪  
シ商賈之カ為メニ常理ヲ以テ其利益ヲ豫圖スヘカラ  
ス随テ投機ノ流行ハレ着實常經ノ商業廢レ産  
業興ラス輸出ヲ減シ輸入超過金銀溢出紙幣下落  
物價騰貴百事ノ否塞弊害互ニ相循環シテ窮ラス  
或ハ曰ク我貨幣ノ數歐米各國ニ比スレハ猶少數也  
故ニ商賈ハ資本ノ欠乏ヲ告ケ資本ノ市價随テ貴  
シ是レ貨幣ノ猶欠乏ナル証據ナリ紙幣ノ下落ハ別

ニ原因在ラ然リト其各國ニ比シテ猶少數ナリト云ハ山豆  
唯人口トノ比較ヲ云フニ非スマ凡ク貨幣ノ過不及ハ人  
口ノ比較ニテラスシテ貿易ノ繁簡ニ在リ其市價ノ貴  
キハ法律裁判ノ不備常經ノ高業衰微シ投機  
家ノ流行ヨリレテ債主不測ノ危険アリ故ニ高利ヲ  
以テ其危険ヲ償ヒント欲スルニアリ且夫レ大祿華族  
ノ如キ地方豪農ノ如キ富有ナルモノ皆其資本ヲ  
埋藏スルノ深カラサルヲ憂フ他ナレ世上危険多クノ致

ス所ナリ或ハ之ヲ不動産ニ換ヘ以テ紙幣下落ノ弊害  
ヲ避ケント欲スルモノアリ故ニ貸借ノ利益高キモ地利獨  
リ卑シ然ラハ則真ニ資本ノ欠乏ニテラサルマ剛ナリ長  
以為ノ通貨負數ノ適否ヲ計ルハ英國銀行ノ法ニ據ル  
最モ近キニ似タリ其法通貨規定ノ常數アリ其區  
域内外ニ於テ幾百万ヲ増減スルノ權ヲ銀行ニ委ス銀  
行ハ常ニ貨幣流通ノ適否ヲ察レ之ヲ増減ス適  
否ノ度ハ外國為替ノ高低ヲ以テ準ト為ス例ハ英

貨一封度、佛貨二十五ヲ以テ定位トス若シ二十五以下ニ下ル  
 時、是レ英國通貨ノ過度ニシテ外國、流出スルノ原  
 因ト為ルニ故ニ銀行兌換紙幣ヲ減縮スレハ忽チ  
 原價ニ復ス其景况相及スル時、即チ對ノ處分ヲ為  
 ス要常ニ定位ニ在ラシムルニ在リ  
但シ外國為替卑價トシ時、騰貴ノ如キ際ニキリテ急ニ紙幣ヲ増減スルニ可ナリ  
 是ヲ以テ外國為替、殆ト内國通貨ノ  
 度ヲ計ル標準ナリ外國為替騰貴スルモ猶通貨ヲ  
 減縮セザル時、物品輸入多ク忽チ平均ヲ失シ數月

ヲ出テスレテ内外貨幣定位ニ復スレ是レ則チ我減縮ス  
 キ所ヲ為サルヲ以テ外國、流出シテ以テ我減縮ヲ助  
 成スルモノナリ尤一國產物出入ノ偏スル時機ニ於テハ夫カ  
 為メ幾分ノ高低ヲ生スルコトアリトイハレ是レ所謂權  
 變ニシテ常經ニアラサルヤリ抑通貨ナルモノハ猶水平ノ  
 如シ必スマ平均ヲ得テ而後ニ已ム若シ權變ニ依テ少  
 ク平均ヲ失スル時、忽チ百方其平均スル所ヲ求メ自  
 然ニ又平均ヲ得ルナリ人カノ能ク久ク左右スル所ニ

アラサルナリ」若シ夫レ不換紙幣ノ如キハ其流通  
スル所限アリ故ニ通貨溢レハ其天下ニ通用スル所ノ金  
銀ヲ驅テ外国ニ流出セシム随テ金紙價格ノ差異  
ヲ生シ終ニ金銀貨ハ内地通行ノ跡ヲ絶テ殆ト外国  
貨幣ノ如ク然リ是レ亦自然ノ勢ナリ是ヲ以テ不  
換紙幣通行ノ國ニ於テハ金貨紙幣ノ比較スルテ  
負數適否ノ準標ト為ス最モ近クシテ且看易シ  
顧ルニ本邦今日通貨ノ如キ紙幣ノ金銀ヨリ卑キ

「四割内外ニ在リ紙幣ノ過度ナルニ實ニ昭々トシテ之  
ヲ匡救スルノ法惟其病根ヲ治スルノミ則テ紙幣ヲ  
減スルニ在リ然レモ數千萬ノ紙幣ヲ一時ニ減却セン  
トスル容易ノコトアラサルヘシ是ニ於テ或ハ國債ヲ外  
國ニ募ルヘシト云ヒ或ハ偏ニ官省ノ定額ヲ減スヘシト  
云ホク一定ノ策アラサルカ如シニ良竊ニ以テ此二ツ  
ノ者皆得策ニアラサルヘシ苟モ其方法ヲ得レハ此  
二策ヲ用井ムシテ之ヲ匡救スルヲ得ヘシト其方法蓋

シ内債ヲ募リ以テ一時ニ其大半ヲ截断スルニ在リ  
今若シ三千万圓ノ紙幣ヲ減却スレハ仮令一即今全ク  
回復スル能ハサルモ必ス十ノ七八ハ挽回スレシ則紙幣一  
圓拾錢内外以テ銀貨一圓ヲ得ルニ至ラン是ニ至ラハ  
民心ヲ安シ随テ商賈繁盛ニ産業興起セン商賈  
繁盛ニ産業興起セハ向ノ所謂百弊自ラ改ラシ金紙  
平均ヲ得ルモ亦ホク難キニテラサルヘシ今三千万圓ノ内  
債ヲ募ルニ毎年歳入ノ三百五十万圓ヲ以テ其元利

ニ充ツヘ其消却豫算并ニ詳細方法ノ如キハ有司ノ  
アルアリ爰ニ贅セス而シテ其三百五十万圓ハ則酒税ヲ  
増テ以テ之ヲ補充スヘシ十一年度豫算表ニ依レハ  
酒税三百五十万圓アリ其實際如何ハ未確知セストイ  
ヘ氏十二年ノ釀造高ハ十一年ニ増加スト云 税モ亦之ニ  
準スヘシ是レ酒一石ニ付一圓ノ税ナリ今一圓ヲ加レハ則  
其一倍ニ至ラン始メ酒税一圓ニ定メタル時米價ハ五六  
圓内外ナリキ故ニ今之ヲ倍スルモ至當ナルノミナラ

ト分



ス間接ノ税ハ貧民ノ苦マサル所ナリ且近來農民般  
富稅重キモ釀造減サニ至ラサルヲ既往ニ徵シテ明カナリ  
今夫レ官者定額ノ欠乏ヲ告ルハ職トシテ物品ノ高  
價ニ依ル物價ノ高貴ハ即チ紙幣ノ年キナリ今若  
シ三千万圓ノ紙幣ヲ減却スル時ハ其價ヲ復シ物  
價準レテ復スレ定額ノ欠乏モ自ラ已マシ是レ真ニ  
一舉兩得ノ策ナリ物價高貴定額欠乏ノ上猶年  
々三百五十万圓ヲ減却スルニ比スレハ其難易得失

智者ヲ待テ而後ニ知ラサル也或ハ曰ク今日公債市ニ流  
溢シ時價益下落ス今若シ新公債ヲ發スルモ非常ノ高  
利ニアラサレハ募リニ應スルモノナカラントニ良以爲ク此困難  
ヲ匡救スルハ則外國人ヲシテ我公債ヲ所有スルノ權ヲ  
得セシムルニ在リ若シ此道一ニ開ク氏ハ其市價ノ騰  
貴セシテ明了タリ其時ニ臨シ三千万圓ノ新公債ヲ  
發行スレハ或ハ八分以下ノ利ヲ以テ募集スルヲ得ハ  
外國人ニ我内債所有ノ權ヲ與フルニ付或ハ非難

ト  
外  
債

ヲ為スモノアリ然レモ公債元利ノ拂方ハ即チ公債規  
則并ニ公債証書ニ掲載シタル約則書ニ依ルモノナレハ  
其取扱并ニ權利義務ニ於テ内國人ト一般ニシテ  
少レモ弊害ノ存所ヲ見ス唯其中外國人ニ適通  
スヘカラサルノケ條アリ之ヲ斟酌修正スル易クノ  
之ヲ遠ク海外ニ募リ年々元利ノ為ニ金銀ヲ輸出  
スルニ比スレハ其難易得失智者ヲ待テ而后ニ知ラサル  
也故ニ曰ク財政ヲ匡救スルハ内債ヲ起シ以テ紙幣

ヲ減縮スルニ在リ内債ヲ起スハ外國人ニ其所有ヲ  
許スニ在リ國會ノ議ニ至テハ先ツ財政匡救着手ノ  
後之ヲ議スルモ未タ遲カラストス若シ此緩急順序ヲ  
誤ル時ハ神算明策モ其効ヲ收ムル能ハサルノヒナラス  
終ニ西ナカラ相原因シテ以テ亂階ト為ルモ測ルヘカ  
ラス故ニ先ツ事物ノ先後ヲ定メ始終ノ籌算ヲ  
確シ然ル後順次着手セハ庶幾クハ明治政治ヲシ  
テ益々隆盛ナラシメンコトヲ國會ノ議ノ如キハ他

日ヲ待テ愚見ヲ陳セント欲ス不堪懇歎屏營之  
至

明治三年十月

尾崎三良敬白